

バスの中からも地すべり地形をじゅうぶんに観察できる。道ばたにため池のあるところのおよそ300m北から北方(露頭8)は 下部中新統の保田層群で 白っぽい細粒砂岩 凝灰岩が主としてでている。その南からは道路ばたの崖はすべて古第三系層の嶺岡層群に属している。著しく乱れた珪質頁岩であり 保田層群の岩石と比べて一見して古めかしい石だと思わせる堅さ もめ方である。

この道路の途中から 標高およそ405mの愛宕山の山

頂近くにある自衛隊のレーダー基地まで行く自動車道路が西方へわかれている。この道をとるととくに山頂近くでは 切割りによる露頭がよく見られる。先刻見たのと同様な珪質頁岩がよくでており その特長をよく知ることができる(露頭9)。

- ・地形図 5万分の1 「鴨川」「那古」
- ・手に入れやすい参考文献

20万分の1千葉県地質図

30万分の1関東地方地質図(説明書付き)

(筆者は地質部)



大雪山国立公園

地学と切手

堀内 恵彦

北海道の屋根といわれる山岳地帯の ほぼ中央部に位置するこの公園は 面積2319.6km<sup>2</sup> わが国の国立公園中最大の面積で 道内最高峰の旭岳(2,290m)を中心として 北嶺・十勝・石狩等の高峰がそびえ それらの中には溪谷 溪流 寒地性樹木の原生林 高山植物群 ナキウサギなどの珍しい動物・昆虫等がみられ 昭和9年12月4日に公園指定を受けました。この山並みは いわゆる大雪山火山群や十勝火山群など複式火山の連峰が主峰を形成し これに水成岩からなる石狩連峰の一部が含まれております。

〔北・中部地区〕 気軽に行ける一帯で 通常上川からですが旭川からもバスがあり交通の便利区域です。

層雲峡…大雪山の北麓 石狩川の支流にあたり 延長約42km。中心は大函・小函の付近で 溪谷は多くの大岩壁 奇岩奇峰が連続し 残月峰直下の層雲峡温泉の湯中から眺める景観もまた格別です。温泉近くの蓬来橋からは大雪の連山を望めます(10円切手はここから黒岳を望む)。

上流の高さ160mの断崖には銀河 流星の大滝(俗称:雄滝・雌滝)があり 峡中でも特に風景の優れた所です。小函付近(10銭切手)から大函までは 頭上をおおう大岩壁の連続で まるで箱の中にいる感じなのでこう呼ばれます。

以前は行き止まりでしたが 昭和32年開通の大雪山国道により 大雪山展望台から温根湯を経て阿寒へ向うこ



とができます。

天人峡温泉・旭岳西南からの登山口に続く柱状節理の絶壁が天人峡と呼ばれ 奥に温泉があります。温泉から500mの

所に道内第一の羽衣の滝(高さ約820m)があります。

大雪山…北海道の屋根といわれるように道内にそびえ 石狩・十勝両国にまたがる大火山群で アイヌ語で「スタクカム シュペ」(ほほの山)といわれます。中心は旭岳(4銭切手)で 北嶺岳(2銭切手)・熊の岳等の連峰が連なって高原地帯を形成し 火口湖 温泉 湿原が散在し 高山植物が茂り 天然記念物のナキウサギが生息しております。赤岳の中腹まで夏期はバスがあります。

石狩岳…大雪山の南にある高峰で 周辺を高峰で囲まれ 平地からは見る事ができませんが 美しい山並みです。

〔西南地区〕 最も不便な地域ですが 山麓はリクリエーションに利用されております。

トムラウシ岳・大雪・十勝両山の間であり 五色原 沼原等の湿原や高原には 美しいお花畑がみられます。

十勝岳…六ツの火山群が重なった三重式コニーデ火山。で中央火口丘(いおう山)は大正15年の爆発ででき 裾野はスキー場として有名。(20銭は十勝連山)

〔東南地区〕 根室本線新得方面や士幌線から利用でき 北西部に比べると訪れる人も少なく静かです。

然別湖…原生林に囲まれた静かな標高797mの火山湖(水深200m;5円切手)で 付近に温泉もあります。

糠平湖…昭和31年完成の発電用人工湖で 自然と人工の美が融和した景観で 付近に糠平温泉があります。

以上おもな地点について述べましたが 交通 施設とも年と共に充実しつつあります。切手は昭15・4・20(2.4.10.20銭)と昭38・9・1(5.10円)の2回発行されました。(筆者は元所員 現科学技術情報センター)

